

藤沢商工会議所・藤沢市 経営発達支援計画（令和5年度分）に対する 事業評価会議の結果について

開催日時：令和6年6月26日（水）午前10時～午前10時45分

開催場所：藤沢商工会館2階 当所事務局内会議室

藤沢商工会議所・藤沢市経営発達支援計画に基づき、記載の事業（令和5年4月1日～令和6年3月31日実績分）について、地域の状況を把握している外部有識者（4名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、当初想定していた目標と実際の達成度合いを比較し、以下（ ）内で示す割合に応じて判定した。

- A評価：目標を達成することができた（100%以上）
- B評価：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C評価：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D評価：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
- E評価：未実施

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・かながわ中小企業成長支援ステーション（神奈川県産業労働局中小企業部中小企業支援課海老名駐在事務所）
- ・日本政策金融公庫横浜支店 国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

藤沢市経済部 1名

参事兼産業労働課長

藤沢商工会議所事務局 5名

専務理事

事務局長

経営支援部長（法定経営指導員）

経営支援部振興課長

経営支援部支援課長（法定経営指導員）

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

藤沢商工会議所・藤沢市経営発達支援計画（令和5年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向調査に関すること

事業等	評価			
①管内小規模事業者景気動向調査	A	A	A	A
②藤沢市景気動向調査	A	A	A	A
③国が提供するビッグデータの活用（経済動向分析）	A	A	A	A

（講評等）現状把握や将来予測に必要な調査が計画通り実施されています。
計画通りに調査等を行うことができている。
計画どおり調査・分析を実施し、ホームページやセミナーで公表されたものとして評価します。
調査結果は貴所のHPや市HP、セミナー等で公表されており、計画通りの実施が確認できた。

2. 経営状況の分析に関すること

事業等	評価			
① 経営革新セミナーの開催	A	A	A	A
② 経営分析	A	A	A	A

（講評等）計画を上回る実施結果となっています。多くのセミナーを開催されたことで、小規模事業者が自ら学ぶ機会が増し、多くの事業者の経営能力向上に貢献しています。
経営状況の分析について計画以上の結果が出ており、多くの企業の経営支援ができている。
セミナー開催や補助金の事業支援計画等、計画を上回る件数を実施されたものと評価します。
経営状況の分析件数については、計画値を大きく上回る実施実績となっている。またセミナー開催件数も計画を大きく上回っており、良好な取組状況である。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価			
① 事業計画の策定支援（セミナー開催等による支援）	B	C	C	B

（講評等）事業計画策定件数は目標の70%ですが、セミナーとセットで事業計画作成の支援が実施できています。
計画値には満たなかったが、7割程度は事業計画の策定支援を行うことができている。
件数は計画の約7割であるものの、着実に策定支援を実施されたものと評価します。
事業計画の策定実施件数は、計画値に対して達成率は70%であったため、評価基準に則り評価した。内容としては、経営塾や独立Naviの受講生の創業計画策定の支援やそのブラッシュアップを行うなど、実効性の高い取組となっていることは評価できる。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価			
事業計画策定後のフォローアップ	B	B	B	A

(講評等) 量的にはフォローアップ出来ているようですが、質的(実効性)な面での結果が確認出来ていません。質の評価のためには、売上・利益の増加の確認が、過年度から出来ていない状況にある原因を明確にして、対策を講じる必要があります。

売上・利益の増加は確認できていないものの、事業者に対するフォローアップについては計画以上に実施することができている。

フォローアップ対象事業者数が増加するなか、積極的に実施支援に取り組まれたものと評価します。

頻度(実施回数)が74%程度となっているが、フォローアップの対象事業者数は計画値を大幅に上回っているため、A評価とした。フォローアップの際に、事業状況は確認しているはずなので、売上状況等についても記録しておきたい。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価			
	B	D	D	C
① 新商品開発に関する消費者アンケート調査	B	D	D	C
② 観光客を対象とした購買動向調査	A	A	A	A
③ 需要動向分析セミナーの開催による小規模事業者支援	B	D	C	C
④ 地域経済分析及び地域特性分析システムの活用による需要動向調査	D	D	D	D

(講評等) テーマによっては、小規模事業者の参加状況が影響したと想像されます。

計画未達の項目が散見された。

一部項目は実施件数・回数が少なかったものの着実に調査・分析を実施されたものと評価します。

アンケート調査については調査結果をHPでの公表までおこなっているため、C評価とした。需要動向分析の取組については、計画値の達成に向けて取組方法について検討の余地がある。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

事業等	評価			
	A	A	A	A
① 展示会・商談会共同出展事業(B to B)	A	A	A	A
② 需要・販路開拓に関する展示会開催事業(B to B、B to C)	A	A	A	A
③ 県内商工会議所・商工会連携によるビジネス交流会(B to B) 県外商工会議所協力による物産展等出展事業(B to B、B to C)	A	A	A	A
③ IT活用による需要の開拓(ザ・ビジネスモール)	B	B	A	A
④ 海外展開による支援	B	B	A	B

(講評等) 展示会・商談会は概ね計画通り実施されています。事業者が主体的に営業活動できる機会の提供が成果につながっていると思われれます。

一部未実施や事業終了等もあったが、概ね計画を達成することができている。

計画どおり各種展示会・商談会への共同出展を行い、新たな需要の開拓に寄与する事業を実施されたものと評価します。

展示会、商談会、フェスタ等を通じた需要開拓事業は十分に活動されている。今後も活発な活動を期待する。

7. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

事業等	評価			
	A	A	A	A
① 市政懇談会・産業政策懇談会の開催	A	A	A	A
② 地元食材を活用した「藤沢ブランド」創出事業	A	B	A	A

③ 藤沢駅周辺商店街・大型店共同販促事業（LOVE藤沢大抽選会）	A	A	A	A
④ 地域資源活用事業（藤沢宿・遊行の盆、ワイン祭り）	A	A	A	A
⑤ 商店街にぎわいまちづくり支援事業（まちゼミ）	A	A	A	A
⑥ ふじさわ元気バザール事業	A	A	A	A
⑦ 藤沢の観光名産品・特産品認定事業	A	A	A	A

（講評等）計画通り実施されており、これらの取り組みは地域に根付いていることが窺えます。計画以上に地域経済の活性化に資する取組ができています。計画どおりイベント等を開催し、地域経済の活性化に資する取組を実施されたものと評価します。

名産品・特産品・観光資源を活かした藤沢地域経済の活性化に寄与する取組であり、今後も継続することを期待する。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業等	評価			
① 近隣商工会議所・商工会との勉強会・情報交換	A	A	A	A
② 関係支援機関との情報交換	A	B	A	A
③ 県・県商工会議所連合会との情報交換・勉強会	A	A	A	A
④ 経済4団体の情報交換	A	A	A	A

（講評等）計画通り実施されて、時宜を得たテーマで情報交換されています。他の支援機関との連携、情報交換ができています。計画どおり勉強会・情報交換を行い、支援ノウハウ等の共有・向上に取り組まれたものと評価します。

今後も、県内の他の支援機関との連携を活発化させることで、より有益な地域事業者への支援や、情報提供を行って頂きたい。また、連携交流を図ることで、経営指導員・職員の方々の情報交流・育成の場ともして頂きたい。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価			
① 外部講習会等の積極的な活用	A	B	A	A
② 現地指導型OJTの実施	A	B	A	A
③ 経営指導員会議の定期開催	A	A	A	A
④ 支援基幹システムによるデータベース化（情報共有）	A	A	A	A

（講評等）1名しか参加しない講習会で得たものを、他の経営指導員とも共有できるようにするための工夫が望まれます。

経営指導員のスキルアップができています。研修参加やOJT等を通じ、経営指導員等の資質向上に取り組まれたものと評価します。

外部講習会などを積極的に活用できているので、今後はよろず支援拠点などと連携し、若手指導員等の現場での経営支援のOJTなどの機会増加があればなお良い。

10. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること

事業等	評価			
事業評価や見直し等に関する各種の取組	A	A	A	A

(講評等) 2つの事業評価基準を同じにして、計画通り実施されています。
計画通りの取組ができています。
計画どおり会議を開催し、事業評価及び見直しに取り組まれたものと評価します。
事業評価の仕組み・制度が構築・運用できており、今後も継続して頂きたい。

11. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評 価			
A	B	A	A

(講評等) 小規模事業者が主体的に活動できる展示会などの事業は、参加者も多く、実施による成果も見られます。一方、小規模事業者の経営力向上につながる経営計画作成やそのフォローにおいては、実効性の確認が難しい状況にあるように思えます。支援成果の定量化ができると、今後の施策を検討しやすくなりますので、改善をご検討ください。貴所の支援能力を向上させるとともに、多くの事業を実行したことにより、小規模事業者の主体的な活動につながっています。引き続き、地域の事業者の行動を促す取り組みに期待します。

経営発達支援計画に対して、全体的には計画を達成できている項目が多く、順調に事業が行われているものと考えられる。ただし、一部未達の計画や、実施されていない事業等もあることから、その部分を補完し、さらなる事業評価の向上を期待する。

令和5年度における経営発達支援計画に基づく事業について、総じて目標を達成することができたと評価します。今後も、セミナー開催、事業計画策定支援、イベント出展、支援力の向上等を通じ、小規模事業者への支援に積極的に取り組まれることを期待します。

R5年度の多岐にわたる計画に対して、日々対応・推進頂いていることに感謝している。今後も、地元地域事業者・創業者の支援や地域活動を通して、地域経済の活発化・発展に寄与して頂きたい。